

①SDGsの理解 ⇒世界に目を向ける力 **重点**

人権教育 → 国際理解 → 心の教育 → 成木学 → 食育

- 17の目標へのアプローチ
 - ・アマガサスの森・栽培活動と食品加工
 - ・地域とのつながりや交流・児童会活動の充実
- 自分に何ができるか
 - ・社会や世界に目を向ける。知ろうとする力の育成
- 様々な視点から考える
 - ・専門家による指導 → 視点を変えてみる力
 - ・異なる意見から学ぶ → 多様性

学んだことを他の地域・国へと広げる

③発表場面の創出 ⇒表現する力

学力向上 → 個別指導 **変更**

- 授業時間内での発表
 - >見合う 伝える わかる
 - >各学年で工夫
- 夏休み作品展・書き初め展
 - >表現することの喜び 価値付け
- 成木地区文化祭
 - >地域への発信

発表力、表現力、意欲、自信

④英語教育の充実 ⇒国際感覚 **継続**

キャリア教育 → 小中一貫教育 **コミュニケーション力**

- 全学年での英語活動・英語科
- 国際理解教育
 - ・他国文化を学ぶ(外国人から学ぶ)
 - ・地域の違いを学ぶ(他地域の文化)
- トウキョウグローバルゲートウェイの体験

世界に目をむけていく、問いかける

②プログラミング教育の充実 **継続**

⇒未来に生きる力 学力向上 → 情報教育

- アンプラグド(プログラミング的思考)
 - ゴールを設定 → そのためになにが必要か
 - >様々な学習場面で実施
- バーチャル(仮想空間での疑似体験)
 - >考えをシミュレーションしていく
- ロボティックス(プログラミングによる制御)
 - >コントロール 道筋を考える

身に付けた学力を生かす場面を作る

【教育目標】

- いのちを大切にしよう
- なんでもやる気を出してやりましょう
- だれにでも親切にしましょう。

基本方針「グローバル教育の推進」 (社会に貢献できる人間を育成する)

生涯を通じて自分の国や地域の伝統や文化についての理解を深め、人権、平和、異文化などのテーマを世界規模でものごとを考える力を身につけるとともに、SDGs(持続可能な開発目標)のように、自分とは全く異なる考え方を持つ人々と一緒に、共通の課題に対して世界規模で協力して解決する力を養う。

学校経営方針

⑧創立20周年を祝う **新規**

→地域・学校を愛する心を育てる

心の教育 → 成木学

- 創立30周年を祝う
 - ・令和8年に向けての準備
 - ・成木について考える場面を設定
 - ・成木地区の昔やこれからを考える
- 地域と共にある学校
 - ・地域への貢献(環境・発表)
- PTAとの連携
 - ・地域を知る活動
 - ・PTAへ協力依頼

成木小でよかったを思える機会を

⑤体力の向上

⇒生涯を通して健康への関心をもつ力

生涯教育 → 健康教育 **継続**

- 体力向上週間 >体力テストの結果を利用
- マラソン週間 >地域・中学校との連携事業
- 保健朝会 >健康についての意識向上
- ロング昼休み・外遊び >外に出て遊ぶ

体を動かす場面を増やしていく

⑦ICTの活用 ⇒情報活用能力 **重点**

学力向上 → 個別指導

- タブレットを使いこなす
 - >目的に応じて利用する力を育てる
 - >「学びポケット」の積極的利用
- ツールとして使いこなす
 - >学び合い 教え合い
 - >ポートフォリオ
- 連絡手段として使いこなす
 - >リモート 交流

**使いつくしてみる。
使わせてみる。記録をまとめる**

⑥たてわり活動の充実 ⇒人間力 **拡充**

社会貢献 → 心の教育 → 健全育成 → 社会のよき形成者

- 活動 異学年交流から気遣う心を育てる
 - >相手意識を高める
- 遠足 青梅市内を歩く
 - >気付き合う気持ちを育てる
- 集会 遊びを通して関わり合いを育てる
 - >工夫 目的意識の醸成
- 掃除 教え合う・助け合う気持ちを育てる
 - >先輩から学ぶ

助け合う、思いやる心を見とる、評価する